



ロンギヤールビンの石炭の積み出し港
(写真: NIPR 塩原匡貴)

産業創出の可能性に向けた 北極域利活用

プログラム:

(1) 開会のごあいさつ

北海道大学 北極域研究センター 齊藤 誠一 センター長

(2) 海運・物流分野: 「北極海航路の海運・物流の現状と展望」

中国遠洋海運集团有限公司 (COSCO) グループ 特殊貨物輸送船
李 堅 (LI, JIAN) 氏、趙英男 (ZHAO, YINGNAN) 氏、五十嵐 公氏

(3) エネルギー分野: 「ノルウェー北極域における石油・天然ガス探鉱開発の現状と展望」

出光興産株式会社 資源部石油開発欧州統括課 高橋 照之氏

(4) エネルギー分野: 「ヤマル LNG プラント建設の課題と展望」

日揮株式会社 オイル・ガス統括本部、オフショア事業本部 阿部 茂 本部長

< 休憩 15:35-15:50 >

(5) 通信分野: 「北極域光海底ケーブルの動向と日本の役割」

北海道大学大学院情報科学研究科 山本 強 特任教授

(6) 水産分野: 「北極の海水減少と漁業拡大の可能性: 北極公海漁業をめぐる

国際交渉の動きについて」
東京海洋大学 海洋政策文化学部門 森下 丈二 教授

(7) 農業・食品分野: 「極東ロシアにおける農業プロジェクトの現状と展望」

株式会社北海道銀行 国際部ロシア室 三上 訓人 室長兼上席調査役

(8) 閉会のごあいさつ

国立極地研究所国際北極環境研究センター 榎本 浩之 センター長

意見交換会 (18:20-19:50)

場所: 北海道大学 FMI 2F オープンカフェ (会費 ¥2,000 円)

※プログラムは都合により変更する場合がございます。
(3rd circular: updated 6/19)

J-ARC Net では、企業や官公庁の皆さまに北極域の最新情報を提供すると共に、新規参入の需要を喚起することを目的としてセミナーを開催しています。第1回、第2回は、「北極海航路とその利活用」を取り上げ、利活用戦略、運航情報と展望、コンテナ輸送の展望・課題、ヤマル LNG の輸送と課題、北海道庁の北極利活用に向けた取り組み、利用に向けた応用技術、北極と世界・日本の未来など、北極海航路にまつわる動向や展望について講演しました。

今回は「産業創出の可能性に向けた北極域利活用」として、各産業分野における北極域利活用の可能性や展望、課題等について講演します。なお、第4回以降は、北極域の利活用の可能性、北極域のガバナンス、環境変動と影響・保全に関する研究等、幅広い内容を予定しています。

日時: 2017年7月24日(月)
13:00 ~ 18:10

場所: 北海道大学北キャンパス
FMI ホール



詳細・お申込みについては
WEB をご覧ください。

<http://j-arcnet.arc.hokudai.ac.jp/>

申込み締切: 2017年7月18日(火)

< お問い合わせ先 >

北極域研究共同推進拠点事務局

j-arcnet@arc.hokudai.ac.jp

TEL: 011-706-9073

主催: 北極域研究共同推進拠点

Japan Arctic Research Network
Center: J-ARC Net

- ・国立大学法人北海道大学北極域研究センター
- ・大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所国際北極環境研究センター
- ・国立研究開発法人海洋開発機構北極環境変動総合研究センター